



今月の表紙：アルツハイマー病理をイメージした脳を水彩画で表現した。

特集

アルツハイマー病は本当に早期発見できるのか

- 905 病歴聴取と身体診察だけで前臨床期のアルツハイマー病を
どれほど疑えるか 福武敏夫
- 915 血液／脳脊髄液マーカーはどれくらい役に立つか 徳田隆彦
- 923 脳 MRI はどれくらい役に立つか 安池政志, 他
- 933 核医学診断法はどれくらい役に立つか 石井賢二
- 943 嗅覚検査はどれくらい役に立つか 武田 篤
- 949 神経心理学的検査はどれくらい役に立つか 緑川 晶

総説

- 957 オキシトシン可視化手法の開発と動態解析
オキシトシンの「見える化」とそこから見えてきたこと 塗谷睦生
- 965 パーキンソン病の病態進展と甲状腺 斉木臣二

症例報告

- 971 脊髄空洞症を呈した Currarino 症候群の一手術例 根本卓也, 他

連載

- 977 医師国家試験から語る精神・神経疾患
第8回 抗うつ薬の情動面での副作用 菊地俊暁
- 976 お知らせ 「公益財団法人日本脳神経財団 2023 年度寺岡賞」募集
- 982 投稿規定
- 984 Information for Authors
- 986 バックナンバー
- 987 次号予告
- 988 あとがき